

【駒ヶ岳登山のご注意】

登山ゲートオープン期間

例年 **6月1日 ~ 10月31日**

午前 9時 ~ 午後 3時

※登山道の状況により、期間が変更となる場合があります。

下記HP等から事前にご確認ください。

※午後3時までに6合目駐車場へ下山してください。

入山届について

6合目登山口に入山届が設置されています。

必ずご記入・投函ください。

※噴火等が発生した場合に救助・救出活動を行う際の重要な手がかりとなります。ご協力ください。



火山活動状況について

北海道駒ヶ岳は活火山です。常時観測火山として、24時間体制で監視が行われています。入山前には、下記HP等で必ず火山の活動状況をご確認ください。登山道には、避難小屋・シェルター等の設備はありません。

※サイレンが聞こえた場合、直ちに下山してください。噴火の可能性があります。

※「馬の背」規制ロープの先は火口原となっており、小規模の噴火でも噴石等が飛散します。非常に危険ですので立ち入ることの無いようお願い致します。

※現在は静穏な状況が続いていますが、**何の前触れもなく噴火する可能性があります。**噴火が発生した場合、規制緩和と区域内であっても被災する可能性があります。

※火山火災の危険性をご理解頂いた上で、登山(入山)するか否かはお自身でご判断ください。

ルールを守って安全に登山を楽しみましょう！

・気象庁HP

「北海道駒ヶ岳の火山観測データ」

・七飯大沼国際観光コンベンション協会HP「大沼アップ」

・七飯町公式LINE火山噴火等の情報を早く入手！



【駒ヶ岳登山口までのアクセス】

駒ヶ岳の登山道は、2022年現在、森町赤井川ルートのみ入山可能です。銚子口コース、砂原岳コースは閉鎖となっていますのでご注意ください。

赤井川ルートは、**6合目まで車の通行が可能**です。(5合目から先は砂利道で道幅も狭くなります。)

6合目から馬の背までは約2km、所要時間は、上り1時間~1時間半、下り45分~1時間ほど。

6合目駐車場(無料) →

乗用車30~40台ほど駐車可能。駐車スペースと簡易トイレあり。飲料水の自販機等はありません。事前にご準備ください。



J R大沼公園駅から

6合目まで約14km、車で約20分、タクシーで3,500円ほど。

J R赤井川駅から

赤井川駅は無人駅です。6合目までは約6.5km、付近にタクシーはありません。普通列車のみ停車する駅となります。



北海道駒ヶ岳 登山ガイド



参考：森町HP、「駒ヶ岳火山防災ハンドブック」

北海道駒ヶ岳火災防災協議会(森町役場) TEL:01374-2-2181

【作成】大沼国際交流プラザ TEL:0138-67-2170 2022.6月

【北海道駒ヶ岳】

北海道駒ヶ岳(通称 ^{おしま} 渡島富士)は、道南の渡島半島 東部、内浦湾南岸にそびえる成層火山で、現在も活動中の活火山です。七飯町・森町・鹿部町の3町にまたがり、剣ヶ峰(1131m)・砂原岳(1113m)・隅田盛(892m)の 三山で構成されています。

活火山の為入山規制がありますが、**例年6月から10月末まで**規制が緩和され、**赤井川登山口(森町)から馬の背(標高約900m)まで登山が可能**です。

北海道駒ヶ岳の見え方いろいろ

大沼公園から見る、切り立った剣ヶ峰となだらかな砂原岳は、眺める場所により全く別の形に見えます。ドライブや列車で山を一周することも出来るので、見え方の違いを楽しんでみては。



森町道の駅から望む駒ヶ岳



鹿部町本別から望む駒ヶ岳

【駒ヶ岳の噴火の歴史】

大昔の駒ヶ岳は、富士山の様に整った形をした山であったと言われています。堆積した噴出物から、駒ヶ岳は10万年前から活動を開始し、現在までに20回以上の軽石噴火と3回以上の山体崩壊を起こしていたことが分かっています。

江戸時代、1640年の大噴火では、東(鹿部)側に崩れ、一部が噴火湾になだれ込み津波を引き起こしました。軽石の降下、火砕流も発生し、被害も甚大でした。

その後、1694年、1856年、1929年と大噴火を繰り返し、1929年(昭和4年)の噴火では軽石噴火が14時間も続いたと言われています。鹿部市街では家屋・家畜・耕地・漁場に大きな被害が出ました。

最近では、1996年から2000年にかけて水蒸気爆発がありましたが、小規模な噴火で被害は少なく、それ以降、目立った火山活動は確認されていません。

【登山道の様子】



← 6合目登山道入り口

設置の入山届に記入・投函したら登山スタート! 山頂へ近づくに従い険しい道となります。トレッキングシューズやストックのご準備を。ゴールの馬の背までは約2km(1時間~1時間半ほど) 簡易トイレは6合目のみにあります。

6合目休憩所 →

スタート地点からやや登った右手にあります。この先の登山道には、ベンチの設置はありますが、木陰はほぼありません。



← 登山道の様子

軽石や砂の堆積した登山道は大変滑りやすく、大雨の後などには亀裂が生じることがあります。足元に十分ご注意ください。下山の際は特にケガをし易いのでご注意ください。



8合目付近から 大沼・小沼を望む →

7~8合目付近まで登ると、背後には大沼・小沼が見えてきます。快晴の日は函館山まで望めることも。9合目付近からは勾配もかなりキツくなりますが、あともう一息! 深呼吸しながらゆっくり行きましょう!



← 馬の背(ゴール!)

お疲れ様でした! 振り返るとご褒美の絶景が広がっています! 剣ヶ峰・砂原岳・隅田盛の案内看板とベンチが設置されています。休憩やランチをどうぞ。この先は規制ロープがあり、立入り禁止区域となります。



【登山道を彩る植物】



シラタマノキ(実)



ベニバナイチヤクソウ



オオウメガサソウ



イワギキョウ

「撮っていいのは写真だけ、
残していいのは思い出だけ。」

自然公園での**高山植物・その他の指定植物の採取**は自然公園法第20条第3項第11号において**禁止**されています。希少な植物の保護の為、何卒ご協力をお願い致します。
また、**ゴミは必ず各自で持ち帰りましょう。**



イワブクロ



紅葉の駒ヶ岳山麓(カラマツ)

駒ヶ岳登山道で見られる花・植物

6月上旬~・・・ベニバナイチヤクソウ、タニウツギ
7月中旬~・・・イワギキョウ、イワブクロ、オオウメガサソウ
8月・9月頃・・・ヤマハハコ、シラタマノキ(実)
10月中旬頃・・・カラマツの紅葉